

令和8年熊本地震 復興支援カンパにご協力下さい！

令和8年7月28日に熊本県で発生した地震により多くの方が被災されました。その中には生活クラブ関西へ出荷している生産者も含まれています。震源に近く被害の大きかった宇城市と八代市では「肥後あゆみの会」「肥後れんこんの里」「氷川アグリクラブ」「水の子」の生産者が被災しました。先週末に各生産者を訪問しましたので現在の状況をお知らせします。

【肥後あゆみの会】現在の出荷には問題なく、以降の再生産についても大丈夫です。肥後あゆみの会の事務所は少し傾きましたが問題ない様です。大玉トマト生産者、角心さんの自宅は半壊以上、守屋さんの自宅は全壊で現在奥さんの実家に避難しています。

【肥後れんこんの里】現在の出荷には問題なく、以降の再生産についても大丈夫です。れんこんの圃場で水漏れが発生していますが大きな問題ではありません。れんこん、にんにく、セロリの生産者で4名の自宅が半壊以上、2名の倉庫・作業場が半壊～全壊でした。

【水の子】現在の出荷には問題ありません。再生産については、堤防近くの圃場が液状化により海水が入った為、しばらく作れない状況ですが、その他は大丈夫です。倉庫や作業場のコンクリート床にヒビが入りましたがその他は大丈夫です。

【氷川アグリクラブ】現在出荷物はなく、以降の再生産についても大丈夫です。11月からのミニトマトの定植が完了しました。1年前の水害（床上浸水）を受け、災害への備えを強化（ソーラーパネル、蓄電池、電気自動車、自宅と各ハウスの井戸を新設）しており、今回も震災当日から電気と水は確保できていました。庭にある大きなプールを地域に開放し、家の片づけをしている間の子供達の預かりを実施する様子が複数のメディアに取り上げられていました。

【その他】半壊、全壊判定を受けていなくとも、近づいてよく見ると大半のお宅が窓枠や玄関が歪んでいたり、壁にヒビが入っていたりするのが現状です。10年前の震災のダメージも影響していると思われます。また八代市は、家庭用水を井戸水でまかなっている家庭が多くあります。その内の50%のお宅で今回の震災により井戸水が出なくなったり、砂が混じってポンプが壊れるなどして使えなくなっている様です。公にはライフラインの復旧は完了した事となっていますが、井戸水を利用している家庭が取り残されている状況です。被災状況は個々大小様々ですが、共通して言える事は「お金がかかる」という事です。

生活クラブ関西 宮脇

「震災カンパ」の別チラシを配布していますのでそちらもご覧下さい。

注文番号は、260070 です。1口500円で何口でも申し込む事ができます。

※40週（9/28～9/2 提出）までお申し込み可能です。ご協力の程よろしくお願い致します。



肥後あゆみの会・守屋さんの倉庫、基礎から外れた柱。間一髪で倒壊を免れました。守屋さんは震災当日、家の中にいましたが家族全員無事でした。



肥後れんこんの里・近藤さんの倉庫。外壁が崩れ、屋根が落ちない様に補強している。